

第3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

(ア) 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。
- ・助成申請・採択状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
研究助成	一般	4	4,600	5	3,129	1	363
	奨励	2	600	1	433	1	118
出版助成		8	9,600	9	10,512	7	8,150
合 計		14	14,800	15	14,074	9	8,631

(イ) 研究成果集

・登載審査委員

役職名	氏 名	摘 要
委員長	中村 睦男	アイヌ文化財団 理事長
委 員	木幡 正志	アイヌ文化財団 事業運営委員
委 員	藪中 剛司	アイヌ文化財団 事業運営委員
委 員	山崎 幸治	アイヌ文化財団 事業運営委員
委 員	山岸 俊紀	アイヌ文化財団 助成事業審査委員長
委 員	手塚 薫	アイヌ文化財団 助成事業審査委員

・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
11月16日(月)～12月18日(金)	4件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅により審査。

・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業 研究報告第15号	2月	1,000	道内市町村教育委員会、主な図書館、大学付属図書館、博物館、研究機関、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体

II アイヌ語の振興

1 アイヌ語教育事業

① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

(f) 講師

氏名	摘要
太田 満	北海道教育大学旭川校非常勤講師
北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究科教授
志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
中川 裕	千葉大学文学部日本文化学科教授
八谷 麻衣	平成27年度親と子のアイヌ語学習講座(旭川地区)講師

(g) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
5月15日(金)	アイヌ文化財団会議室	・今年度の指導方針について ・スクーリング・カリキュラム案の作成 ・フォローアップ・カリキュラム案の作成
8月28日(金)	NTTセミナーセンタ	第2回スクーリング・カリキュラム案の作成
10月2日(金)	NTTセミナーセンタ	スクーリング・カリキュラム案の作成
3月4日(金)	アイヌ文化財団会議室	・今年度の総括 ・フォローアップ講座・日程および開催地域の決定について ・次年度(第10期生)の指導方針について

(h) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
8月28日(金)～8月30日(日)	NTTセミナーセンタ	沖津 翼、川上さやか、 川村 久恵、木幡 弘文、 竹内 隼人、早坂 ユカ、 山丸 賢雄
10月2日(金)～10月4日(日)	NTTセミナーセンタ サッポロピリカコタン	
11月6日(金)～11月8日(日)	NTTセミナーセンタ	

(e) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
6月19日(金)～6月21日(日)	苫小牧市生活館	大須賀るえ子、小川 早苗、 貝澤美和子、工藤 小夜、 作田 悟、新谷 裕也、 関根 健司、中井 貴規、 山道ヒビキ

② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	7名	4月25日(土)～3月27日(土)	12
浦河	関根 健司	5名	7月18日(土)～12月13日(日)	12
札幌	結城 幸司	5名	6月10日(水)～6月30日(火)	12

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
白老	大須賀るえ子	5名	6月6日(土)～8月29日(土)	12
白糠	藤村久和	5名	7月11日(土)～11月29日(日)	16
平取	大野徹人	4名	7月12日(日)～3月13日(日)	12
むかわ	片山弘子	4名	7月1日(水)～1月24日(日)	12

③ アイヌ語初級

(a) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	成田英敏	3家族8名	4月11日(土)～3月26日(土)	24
旭川	八谷麻衣	3家族9名	6月11日(木)～3月16日(水)	24
札幌	澤井アク	2家族8名	12月20日(日)～1月24日(日)	24
白老	八幡巴絵	1家族2名	10月15日(木)～3月10日(木)	18
むかわ	片山弘子	2家族6名	6月24日(水)～2月24日(水)	14

(b) アイヌ語入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	多原良子	38名	6月20日(土)～11月7日(土)	20
白老	山道ヒビキ	19名	7月24日(金)～3月25日(金)	15
苫小牧	作田悟	9名	9月9日(水)～3月23日(水)	20
平取	貝澤美和子	20名	6月3日(水)～3月2日(水)	18
むかわ	佐々木義一	6名	6月18日(木)～3月4日(金)	20

2 アイヌ語普及事業

① ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をSTVラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(ア) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
STVラジオ	本放送：毎週日曜日 あさ 7:00～7:15 再放送：毎週土曜日 よる11:00～11:15	中井 貴規

(イ) テキスト

種別	作成時期	作成数	主な配布先
平成27年度 Vol.2 (7月～9月放送分)	6月	3,500	各アイヌ協会、各アイヌ語教室、博物館、図書館、アイヌ語関係者など
平成27年度 Vol.3 (10月～12月放送分)	9月	3,500	
平成27年度 Vol.4 (1月～3月放送分)	12月	3,500	
平成28年度 Vol.1 (4月～6月放送分)	3月	3,500	

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(f) 開催日時 11月21日(土)10:00~17:00

(g) 開催場所 北海道大学高等教育推進機構 S2 講義室

(h) 出場者 募集期間 6月23日(火)~10月5日(月)

区 分	発表内容	出場者数
子供の部	自由	13組 16名
大人の部	口承文芸部門	18組 18名
	弁論部門	2組 2名
口演の部	自由	4組 4名

(i) 審査委員

区 分	氏名
審査委員長	高木喜久恵
審査委員	弓野恵子、佐藤知己、丹菊逸治

(j) 受賞者

区 分			受賞者
最優秀賞	子供の部	自由	楠本直嗣 (札幌市)
	大人の部	口承文芸 弁論	藤谷るみ子 (平取町) 該当なし
優秀賞	子供の部	自由	廣野大地 (釧路市)、郷右近貴子 (釧路市)
	大人の部	口承文芸 弁論	山本りえ (白老町)、高橋比登美 (札幌市) 沖津翼 (札幌市)、平田篤史 (神奈川県)

Ⅲ アイヌ文化の振興

1 アイヌ文化伝承再生事業

① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがありますが、その製作技術や儀礼などが失われつつあります。このため、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
活字マニュアル踊り編Ⅲ (ウポポ・ホリツパ・リムセ) 旭川・千歳・弟子屈編	7月	270	博物館、図書館、各アイヌ協会、 アイヌ関係団体など
映像マニュアル踊り編Ⅳ (ウポポ・ホリツパ・リムセ) 札幌・静内・鶴川編	3月	320	

② 実践上級講座

(a) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
阿 寒	床 みどり	9名	12月 5日(土) ～ 2月 22日(月)	15
旭 川	太田 満	1名	6月 30日(火) ～ 1月 12日(火)	15
浦 河	太田 満	4名	7月 3日(金) ～ 12月 19日(土)	15
帯 広	木村寿美子	5名	9月 15日(火) ～ 12月 22日(火)	15
札 幌	澤井 アク	5名	7月 7日(火) ～ 8月 9日(日)	15
白 糠	(音声資料)	5名	6月 20日(土) ～ 10月 24日(土)	15
平 取	木幡サチ子	5名	6月 16日(火) ～ 11月 24日(火)	15
むかわ	押野千恵子	5名	6月 20日(土) ～ 11月 1日(日)	15

(b) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講 師	受講者数	開催期間	開催回数
東 京	刺 繍	丸子美記子	12名	4月 26日(日) ～ 3月 27日(日)	12
	木 彫	貝澤 徹	8名	6月 14日(日) ～ 3月 6日(日)	9
	編 物	河岸 麗子	11名	6月 7日(日) ～ 3月 6日(日)	9
八 雲	刺 繍	溝口 正枝	6名	6月 12日(金) ～ 1月 22日(金)	12
白老保存会	舞 踊	山崎シマ子	12名	6月 3日(水) ～ 11月 18日(木)	12
登 別	刺 繍	上武やす子	8名	6月 5日(金) ～ 11月 20日(金)	12
芽 室	刺 繍	山本みい子	5名	6月 4日(金) ～ 1月 31日(日)	12
平 取	刺 繍	貝澤美和子	15名	6月 29日(月) ～ 12月 14日(月)	12
長万部地の会	刺 繍	三原久美子	13名	6月 17日(水) ～ 1月 20日(水)	8
札幌カボチ保存会	舞 踊	小松田初美	13名	6月 26日(金) ～ 10月 30日(金)	12
苫小牧の会	刺 繍	佐々木富子	10名	6月 27日(土) ～ 9月 26日(土)	12

開催地区	講座種別	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	編物	杉村 忍	15名	7月8日(水)～9月9日(水)	12
	刺繍	宮田 初枝	15名	7月9日(木)～10月21日(水)	12
	木彫	長縄 茂	15名	7月9日(木)～9月4日(金)	12
鱧川地区	木彫	諏訪 良光	15名	8月25日(火)～10月7日(水)	12
伊達	編物	山崎シマ子	15名	9月3日(木)～10月16日(金)	12
帯広	木彫	荒田 裕樹	15名	9月5日(土)～12月6日(日)	12
浦幌	刺繍	山本みい子	6名	10月6日(火)～12月2日(水)	12
むかわ	木彫	木下 梅雄	15名	11月10日(火)～1月27日(水)	12
白老	木彫	山田 祐治	10名	10月31日(土)～12月6日(日)	12
様似	木彫	貝澤 徹	12名	11月7日(土)～1月17日(日)	12
苫小牧	木彫	作田 悟	11名	11月19日(木)～3月18日(金)	12
幕別	編物	早坂 ユカ	9名	11月22日(日)～1月18日(月)	12
阿寒	編物	堀 悦子	10名	11月28日(土)～2月13日(土)	12

(c) 成果発表会の開催

実践上級講座において制作した作品等を発表するための場として成果発表会を開催した。

(7) 審査委員

役職名	氏名	摘要
委員	高野 繁廣	伝統工芸家
委員	川村 則子	アトリエのんのん代表

(4) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
2月5日(金)	江東区文化センター	46点	一次審査～二次審査

(7) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	2月6日(土)	江東区文化センター	95名
展示	2月5日(金)～7日(日)		

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部門	作品名
優秀賞	丸子 美記子	刺繍の伝統的作品	アミップ チカルカルペ
	弓野 恵子	その他の伝統的作品	サラニップ
	八幡 智子	一般作品部門	ランチョンマット(4点セット)
入選	弓野 恵子	刺繍の伝統的作品	ルウンペ
	石澤 健一	その他の伝統的作品	サラニップ
	大空 ひとみ	一般作品部門	ランチョンマット
奨励賞	掛川 きさ子	刺繍の伝統的作品	チヂリ
	島田 あけみ	その他の伝統的作品	テクンペ

③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位:千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	12,900	40	13,388	35	12,554

④ 口承文芸視聴覚資料作成事業

ユカラをはじめとした口承文芸について、語り（アイヌ語）、日本語訳及び字幕を入れたアニメーション映像を作成し、アイヌの無形文化の紹介資料とするとともに、アイヌ語やアイヌ文化の入門教材として活用することによりアイヌ文化の振興を図った。

(ア) 口承文芸視聴覚資料作成事業編集委員

役職名	氏名	摘要
委員長	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	遠藤 志保	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員
委員	大坂 拓	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員
委員	瀧口 夕美	アイヌ語関連書籍編集者

(イ) 編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月3日(水)	アイヌ文化財団会議室	物語(題材)の選定 制作に係る方針・DVDの構成等について スケジュールについて
8月4日(火)	アイヌ文化財団会議室	スケジュールについて 各作品の製作上の留意点について
9月3日(木)	アイヌ文化財団会議室	アニメーションの進捗状況について その他
10月21日(水)	アイヌ文化財団会議室	アニメーションの進捗状況について その他
12月17日(木)	アイヌ文化財団会議室	歌詞カード、小冊子の作成について アニメーションの進捗状況について
1月22日(金)	アイヌ文化財団会議室	アニメーションの動画・音声、印刷物の確認について

(ウ) 企画審査委員会

開催日	開催場所	協議事項等
7月17日(金)	アイヌ文化財団会議室	プロポーザル審査会

(エ) 映像資料(DVD)

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
オルシペ スウォプ4	3月	2,000	各アイヌ協会、関係博物館、道内小学校、アイヌ語や口承文芸の伝承を志す初心者など

⑤ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位:千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,750	9	1,705	8	1,428

2 アイヌ文化交流事業

① アイヌ文化交流事業

(a) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解を促進しようとする活動を支援した。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	25	25,000	63	37,303	60	32,033
道外実施	11	16,500	8	11,740	8	10,329
合 計	36	41,500	71	49,043	68	42,362

*実施状況の現地確認

財団職員が、現地に出向き助成事業の実施状況を確認した。

件数23事業、派遣者数25人

(b) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(f) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

(g) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(h) 助成申請・採択状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	4	4,800	5	7,617	3	3,993
招聘事業	2	800	3	1,969	3	1,709
合 計	6	5,600	8	9,586	6	5,702

② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を直接学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

(f) サーマ招へい

- ・招へい期間 10月7日(水)～10月15日(木) (うち国内日程 8日(木)～13日(火))
- ・招へい者数 9名
- ・実施地域 阿寒、平取、白老、札幌

(g) 青少年国際文化交流フォローアップ研修事業助成

この研修事業に参加した若者を対象に、アイヌ文化の継承者として育てていくため、「アイヌ若

者委員会」が主催する行事等の実施に係る経費を助成した。

内 容	実施日
第1回研修会『サーミの歴史・文化・現状を学ぶ』	9月20日(日)
第2回研修会『サーミとの交流会』	10月11日(日)
第3回研修会『アイヌの伝統文化を継承することとは』	2月11日(木)

3 アイヌ文化普及事業

① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
6	3,000	5	2,291	5	1,814

② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け(パッケージ)派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(f) 委 嘱 322名

(i) 派遣実績 342団体 延572人

(学校派遣：小学校99件、中学校26件、高校24件)

③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(a) 工芸品展企画委員会

<委員名簿>

役職名	氏 名	摘 要
委員長	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授
委 員	五十嵐聡美	北海道立帯広美術館学芸課長
委 員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委 員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委 員	長谷部一弘	函館市北方民俗資料館学芸員
委 員	藪中 剛司	新ひだか町博物館館長
委 員	貝澤 徹	アイヌ文化実践者
委 員	土岐美由紀	北海道立旭川美術館学芸課長
委 員	梅津あづさ	入間市博物館学芸員
委 員	三浦久美子	入間市博物館学芸員
委 員	城石 梨奈	北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員
委 員	持田 誠	浦幌町立博物館学芸員

<企画委員会>

開催日	開催場所	協議事項
6月1日(月)	アイヌ文化財団会議室	借用資料について、展示構成について 図録校正及び執筆・テーマ等について

(b) 展覧会

木にまつわる伝承をプロローグとして、今に伝えられている木を素材とする民具や、主に昭和期の北海道観光ブームを背景に発達した土産としての木工芸品、さらに現代作家による多彩な木彫作品を紹介した。

(ア) 工芸品展名称

「木と生きる－アイヌのくらしと木の造形－」

(イ) 資料借用先

一般財団法人アイヌ民族博物館、網走市立郷土博物館、川村カ子トアイヌ記念館、釧路市立博物館、国立民族学博物館、市立函館博物館、新ひだか町博物館、天理大学附属天理参考館、東京国立博物館、苫小牧市美術博物館、函館市北方民族資料館、平取町立二風谷アイヌ文化博物館、北海道大学植物園、北海道博物館、北海道立北方民族博物館、貝澤徹、山崎幸政、渡辺裕司 (計447点)

(ウ) 道外会場

- ・会 期 8月29日(土)～10月18日(日)
- ・会 場 入間市博物館
- ・来場者数 5,294名
- ・関連事業

区 分	内容等
ギャラリートーク	日 時 8月29日(土)9:45～10:45 会 場 特別展示室 講 師 藪中剛司(新ひだか町博物館館長) 五十嵐聡美(北海道立帯広美術館学芸課長) 来場者数 計50名
アイヌ文化 の体験講座	名 称 「アイヌの楽器をつくろう!ならそう!」 日 時 8月30日(日) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 会 場 体験学習室 講 師 一般財団法人アイヌ民族博物館職員 受講者数 ①16名 ②21名 計37名
	名 称 「オヒョウの樹皮で編んだプレスレットづくり」 日 時 9月5日(土)①10:30～12:00 ②13:30～15:00 会 場 体験学習室 講 師 関根真紀、尾崎友香(アイヌ工芸家) 受講者数 ①17名 ②16名 計33名
	名 称 「アイヌ文様彫刻体験～茶さじづくり～」 日 時 10月10日(土)①10:30～12:00 ②13:30～15:00 会 場 体験学習室 講 師 貝澤徹(アイヌ工芸家) 受講者数 ①12名 ②12名 計24名

(エ) 道内会場

- ・会 期 11月19日(木)～1月24日(日)
- ・会 場 北海道立旭川美術館

・来場者数 2,512名

・関連事業

区 分	内容等
ギャラリートーク	日 時 11月19日(木)9:40～(約40分) 会 場 展覧会場(第一展示室) 講 師 藪中剛司(新ひだか町博物館館長) 五十嵐聡美(北海道立帯広美術館学芸課長) 来場者数 計 50名
講演会	日 時 12月12日(土)14:00～15:00 会 場 講堂 タイトル 「近文アイヌの工芸」 講 師 谷本晃久(北海道大学大学院文学研究科准教授) 来場者数 計 27名
アイヌ文化の体験講座	名 称 アイヌの楽器ムックルをつくって鳴らそう 日 時 1月9日(土)①10:30～12:00 ②13:30～15:00 会 場 講堂 講 師 川村久恵(川村カ子トアイヌ記念館副館長) 八谷麻衣 受講者数 ①18名 ②16名 計 34名

(c) 常設展示

アイヌ文化財団事務室及びアイヌ文化交流センターに財団所蔵資料を展示した。

(d) 現代アイヌ工芸品の展示

先代より守り伝えられてきた手仕事から生まれた現代アイヌ工芸品を展示・公開した。

展 示 場 所	時 期	展 示 品
北海道庁本庁舎1階	通年	アットウシ、イタ、フクロウ
JICA北海道	通年	イタ、マエタレ、ムックリ、カスプ

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
7月11日(土) 三重県津市 (三重県総合文化センター)	◇講演「-松浦武四郎が歩いた北海道・樺太・千島列島-」 田村将人(札幌大学特命准教授) ◇伝統楽器演奏 トンコリ演奏 ToyToy(トンコリ・ムックリ奏者・アイヌ古式舞踏継承者・アイヌ文様切り絵作家・アイヌ文様デザイナー) Shiho(コーラス・MC・ToyToy屋コーディネーター) ◇アイヌ古式舞踊 札幌ウポポ保存会 ◇実演 木彫 貝澤守((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 澤井幸子((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	963

開催日・開催地	内 容	来場者数
8月22日(土) 長野県長野市 (長野県県民文化 会館)	◇講演「アイヌ絵の世界～誰が何のために描いたのか」 五十嵐聡美(北海道立帯広美術館学芸課長) ◇伝統楽器演奏 トンコリ演奏・ムックリ演奏 星野工(木彫作家) 居壁太(アイヌ文化活動アドバイザー) ◇アイヌ古式舞踊・ムックリ 旭川チカップニ・アイヌ民族文化保存会 ◇実演 木彫 荒木繁((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 山本みい子((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	1,078
9月12日(土) 東京都千代田区 (有楽町朝日ホー ル)	◇アイヌ古式舞踊公演・ムックリ演奏 ウレンカ ◇アイヌ語劇「キツネのチャランケ」 平取町二風谷アイヌ語教室 ◇音楽公演 OKI MAREWREW	745
10月3日(土) 北海道釧路市 (釧路市生涯学習 センター)	◇トークショー「アイヌにうまれて」 宇梶剛士(俳優) 関根真紀(アイヌ工芸家) ◇アイヌ古式舞踊 白糠アイヌ文化保存会 ◇伝統楽器演奏 ムックリ演奏 阿寒口琴の会 ◇実演 木彫 諏訪良光(工房サルンパ代表) 刺繍 西田香代子((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	463
1月16日(土) 北海道札幌市 (かでる2・7)	◇アイヌ文化賞贈呈式 ◇音楽公演 ヒートボイス ◇アイヌ古式舞踊 アイヌサニケ ◇口承文芸 豊岡衣伊(平成26年度弁論大会：口承文芸部門最優秀賞受賞者)	546

⑤ 博物館等アイヌ資料展示・公開等助成

博物館・資料館等が実施するアイヌ文化に関する体験学習やアイヌ関係の所蔵資料の公開に要する経費の一部を助成することで、来館者がムックリ等の製作体験をできる機会を増やすとともに、収蔵庫に収められている資料の公開を促進することによりアイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
常設展示	1	3,000	3	8,856	3	8,856
企画展示	1	3,000	1	213	1	206
体験事業	10	3,000	2	446	2	446
合 計	12	9,000	6	9,515	6	9,508

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

(f) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員

役職名	氏名	摘要
委員長	浅川 泰	北海道立文学館学芸員
副委員長	野本 正博	一般財団法人アイヌ民族博物館館長
委員	浦川 太八	ホロベツ民芸代表
委員	川村 則子	アトリエのんのん代表
委員	高野 啓子	高野民藝
委員	西田香代子	チニタ民藝店

(g) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
8月20日(木)	かでの2・7 110 会議室及び 展示ホール	171 点	委員長の互選 一次審査及び二次審査、 受賞作品決定

(h) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	8月24日(月)	かでの2・7 展示ホール	—
展示	8月21日(金)～24日(月)		588 名
巡回展示	9月12日(土)～15日(火)	有楽町朝日ギャラリー	902 名

(i) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部門	作品名
優秀賞	信太 成子	鹿部町	刺繍・伝統	テンキ
	藤谷るみ子	平取町	刺繍・伝統	アットウシ八寸クツ (八寸帯)
	北川 重野	帯広市	一般	壁掛け
入選	佐々木千代	室蘭市	刺繍・伝統	チヂリ
	山崎シマ子	白老町	刺繍・伝統	アットウシ衣
	藪下 慶子	函館市	一般	レッスンバッグ (No. 1)
奨励賞	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	チヂリ
	中村 郁世	函館市	刺繍・伝統	ルウンペ
	相澤 道子	帯広市	一般	花
	桶田由紀子	北広島市	一般	タペストリー
	河西 藍美	千葉県	一般	クルミまき
	倉島 美栄	北広島市	一般	タペストリー (ルウンペ)
	立原 厚子	京都府	一般	名古屋帯 (太鼓柄)
	長縄由加利	札幌市	一般	タペストリー
	長谷川順子	苫小牧市	一般	タペストリー
本木 知也	厚真町	一般	革財布ーコタンコロカムイー	

② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

(7) 被表彰者推薦期間

6月10日(水)～8月28日(金)

(イ) アイヌ文化賞等表彰者選考委員

役職名	氏名	摘要
委員長	中村 吉雄	千歳アイヌ協会会長
副委員長	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	宇治 義之	豊浦アイヌ協会会長
委員	菊地 修二	様似アイヌ協会会長
委員	弓野 恵子	東京アイヌ協会副会長
委員	田村 将人	札幌大学特命准教授
委員	出利薬浩司	北海道開拓記念館学芸副館長

(ロ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
11月25日(水)	アイヌ文化財団 会議室	アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

開催日	開催場所	摘要
1月16日(土)	かでの2・7	文化フェスティバル(札幌会場)において実施

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者(年齢)	所在地	備考
アイヌ文化賞	林 イツコ(81)	白老町	
アイヌ文化 奨励賞(個人)	今井ノリ子(72)	静岡県伊豆の国町	
	貝澤ユリ子(73)	平取町	
	木村マサエ(66)	帯広市	
	酒井奈々子(64)	帯広市	
	佐渡日出男(73)	むかわ町	
	堀 悦子(62)	浦河町	
	村尾 磯子(72)	苫小牧市	
	山本 栄子(70)	釧路市阿寒町	

※アイヌ文化奨励賞(団体)への推薦はありませんでした。

IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

1 普及啓発促進事業

① 広報情報発信

(a) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種 別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版 「アイヌ文化財団のあらし」	日本語版	7月	5,000	図書館、博物館、 アイヌ関係団体 のほか、主催事 業への来場者等
	英語版	7月	700	
文化情報版 「アイヌの人たちとともに」	日本語版	8月	8,000	
	日本語版	10月(増刷)	2,000	
	英語版	8月	1,000	
英語版	10月(増刷)	2,000		
カレンダーの作成(自主事業)		12月	1,000	

(b) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設した。

(ア) アクセス数 69,001 件 (3月31日現在 対前年比 4,969 件増)

(イ) アイヌ生活文化再現マニュアル「踊り」(平成26年度制作)の追加

(ウ) 幼児向け絵本「みんなで オマオマ オマオマ」(平成26年度最優秀賞受賞作品)の追加

(エ) 児童書「アイヌの昔話 カムイを射止めた男の子」の追加

(c) 地上デジタル・データ放送によるアイヌ文化の普及啓発

地上デジタルデータ放送を利用して、アイヌ文化に関する情報を発信し(平成24年4月から札幌テレビ放送(STV)で放送中)広くアイヌ文化の周知・普及を図る。

情報量	アイヌ関連のイベント情報 70 件、アイヌ文化の紹介 8 件、アイヌ民族の歴史の紹介 8 件、アイヌのことばの紹介 5 件、アイヌの物語 3 話、アイヌ関連展示施設紹介 44 件、イラストの掲出 12 種
-----	--

② 小中学生向け副読本の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図るとともに教員を対象に研修会を開催した。

(ア) 副読本等

種 別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	8月	72,000	全国の公立小中学校(道内小4学年、中2学年児童生徒全員)、都道府県教育委員会、市町村教育委員会
中学生用	8月	66,000	
教師用指導書	8月	38,000	

(イ) 教員向け研修会

開催日	開催地	講 師	事例発表者	受講者数
11月11日(水)	東京都	阿部 一司	台東区立石浜小学校	24
11月12日(木)	栃木県	阿部 一司	—	79
1月7日(木)	浦河町	堀 悦子	加渡 三之	24
1月12日(火)	札幌市	北原次郎太	間島 勉	25

開催日	開催地	講師	事例発表者	受講者数
1月15日(金)	白糠町	高木喜久恵 磯部恵津子	小原 正寿	25

③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を絵本にして北海道内の保育園などに配布するとともに、ユカラ、ウエペケレなどのアイヌ口承文芸やアイヌの伝承などの中からよく知られている物語を調査し、その物語を小学校低学年向けのアイヌ民話撰集（児童書）として北海道内小学校などに配布することにより、アイヌの歴史や文化についての知識の普及啓発を図った。

(7) 絵本原作募集

- ・募集期間 6月1日(月)～9月30日(水)
- ・応募点数 11点
- ・幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員

役職名	氏名	摘要
委員長	阿部 一司	公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長
委員	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委員	乾 芳宏	前・余市町立余市博物館館長
委員	加藤 貴子	札幌市立きくすいもとまち幼稚園長
委員	杉浦 篤子	藤女子大学人間生活学部保育学科教授
委員	八幡 巴絵	一般財団法人アイヌ民族博物館学芸員

・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘要
10月下旬	11作品	出品作品(写)を委員へ送付し在宅で審査。

・選考委員会（二次審査）

開催時期	開催場所	協議事項等
11月27日	アイヌ文化財団 会議室	二次審査対象作品の選定～二次審査 受賞作品の決定

・絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
『からすのくろいほし』	3月	5,000	全国の図書館、北海道内の小学校、 幼稚園、保育所など

(1) アイヌ民話撰集（児童書）

・アイヌ民話撰集の作成・配布事業企画編集委員

役職名	氏名	摘要
委員長	丹菊 逸治	北海道大学アイヌ先住民研究センター准教授
委員	阿部かおり	北海道立図書館利用サービス部利用サービス課主任
委員	押野 朱美	一般財団法人アイヌ民族博物館伝承課
委員	高橋 靖以	北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員
委員	関根 健司	平取町二風谷アイヌ文化博物館学芸員補

・企画編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月22日(月)	アイヌ文化財団 会議室	委員長の互選 物語(題材)の選定 今後の制作について 今後の作業内容と作業分担
7月24日(金)	アイヌ文化財団 会議室	プロポーザル審査会
9月1日(火) ～2日(水)	アイヌ文化財団 会議室	委員から作品のレクチャー 今後のスケジュール
11月5日(木) ～6日(金)	アイヌ文化財団 会議室	内容の検討 今後のスケジュール

・アイヌ民話撰集(児童書)の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌの昔話 雷を打ち負かした女の子 イソイタッ3	3月	5,500	全国の図書館、北海道内の小学校、 国内主要博物館など

④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 札幌会場(かでの2・7)

開催日	講師	テーマ	受講者数
7月28日(火)	八幡智子	私とアイヌ文化ー刺しゅうを心のよりどころにー	43
	深澤美香	江戸時代に訳された日本の心中話-アイヌ語で唱う『お吉清三』恋物語について-	43
7月29日(水)	小川正人	北海道博物館のアイヌ文化展示について	43
	磯部恵津子	私とアイヌ文化ー自ら学び、広めていく活動ー	43
7月30日(木)	山道ヒビキ	アイヌ語ー学ぶ楽しさ・教える難しさー	46
	浅倉有子	アイヌの漆器に関する歴史的研究について	46
7月31日(金)	北原次郎太	本州の(削りかけ)に似たアイヌの祭具(イナウ)について	48
	今石みぎわ	アイヌの祭具(イナウ)に似た本州の(削りかけ)について	48
8月19日(水)	長澤政之	アイヌ民族の歴史ー場所請負制のもとでの根室場所アイヌの生業活動とその変容ー	39
8月20日(木)	猪熊樹人	明治41年に軍艦「金剛」が記録した千島アイヌの生活誌	34

(イ) 東京会場(アイヌ文化交流センター)

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月4日(火)	猪熊樹人	明治41年に軍艦「金剛」が記録した千島アイヌの生活誌	36
	山道ヒビキ	アイヌ語ー学ぶ楽しさ・教える難しさー	37

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月5日(水)	深澤美香	江戸時代に訳された日本の心中話-アイヌ語で唄う『お吉清三』恋物語について-	34
	長澤政之	アイヌ民族の歴史-場所請負制のもとでの根室場所アイヌの生業活動とその変容-	34
8月6日(木)	八幡智子	私とアイヌ文化-刺しゅうを心のよりどころに-	31
	浅倉有子	アイヌの漆器に関する歴史的研究について	31
8月7日(金)	北原次郎太	本州の〈削りかけ〉に似たアイヌの祭具〈イナウ〉について	31
	今石みぎわ	アイヌの祭具〈イナウ〉に似た本州の〈削りかけ〉について	32
8月25日(火)	磯部恵津子	私とアイヌ文化-自ら学び、広めていく活動-	20
8月26日(水)	小川正人	北海道博物館のアイヌ文化展示について	23

(ウ) 根室会場 (根室市総合文化会館)

開催日	講師	テーマ	受講者数
12月4日(金)	磯部恵津子	私とアイヌ文化 -自ら学び、学校に、地域に広めていく活動-	30
12月5日(土)	長澤政之	根室場所アイヌの生業活動とその変容	41
	深澤美香	アイヌ語で唄う日本の心中話『お吉清三』恋物語- 加賀家の古文書資料から-	34

(エ) 新潟会場 (新潟テルサ・新潟勤労者総合福祉センター)

開催日	講師	テーマ	受講者数
12月11日(金)	八幡智子	私とアイヌ文化 -刺しゅうを心のよりどころに-	16
12月12日(土)	山道ヒビキ	アイヌ語 -学ぶ楽しさ・教える難しさ-	36
	浅倉有子	近世の蝦夷地における漆塗り容器について	32

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演題	講師	来場者数
7月11日(土) 三重県津市	松浦武四郎が歩いた北海道・樺太・千島列島	田村将人 札幌大学特命准教授	963
8月22日(土) 長野県長野市	アイヌ絵の世界～誰が何のために描いたのか	五十嵐聡美 北海道立帯広美術館学芸課長	1,078
10月3日(土) 北海道釧路市	アイヌにうまれて…	宇梶剛士 俳優 関根真紀 アイヌ工芸家	463

※各会場とも文化フェスティバルと合同開催。

⑥ イランカラナテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラナテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(7) イランカラテキャンペーン

・PR ツールの作成

作成物	実施時期	作成数	主な配布先
ミニのぼりの作成・配布	9月中旬～	1,000	道内市町村・主要企業・ 観光協会、地域アイヌ協 会など
ステッカーの配布（楕円形）	9月中旬～	10,000	
缶バッジの作成・配布	9月中旬～	3,000	
漫画リーフレットの増刷・配布	9月中旬～	20,000	
クリアファイルの作成・配布	9月中旬～	1,000	

・道内でのPR活動

啓発活動	実施時期	内 容
札幌市円山動物園でのプロモーション	8月上旬～	記念撮影看板設置、スタンプラリー、Zoo カフェ内のコースター、トレイマットにロゴ印字、オフィシャルショップレジ袋にロゴ印刷
旭川市旭山動物園でのプロモーション	8月下旬～	記念撮影看板設置
啓発ツールの配布	9月中旬～	道内主要観光施設（ホテル、道の駅、交通業者等）への配布
モニターツアーの実施	11月～	白老日帰りツアー（11月 7日） 平取日帰りツアー（11月 28日） 阿寒一泊二日ツアー（2月 25日～26日）
「北海道カルチャー&エンターテイメント」プロモーション	3月 11日	伝統芸能イベントなど

・道外でのPR活動

啓発活動	実施時期	内 容
ツリズム EXPO ジャパンへの出展	9月 25日 ～27日	啓発ツールの配布、貸衣装コーナーの設置
観光業界誌への記事掲載	11月	週刊観光新聞、週間トラベルジャーナル
銀座 SONY ビルプロモーション	10月 1日 ～31日	工芸品の展示、啓発ツールの配布、アニメ上映他
渋谷 PARCO プロモーション	1月 20日 ～26日	若年層をターゲットにしたイベントを予定

・メディアPR

啓発活動	実施時期	内 容
地域自治体及び道内観光協会 Web 展開	10月～	キャンペーンバナーの掲出 道内地域の観光協会 FaceBook ページと連携した情報発信
「北海道 Likers」タイアップ	10月～	FaceBook 記事掲載

(イ) 新幹線開業イベントとのタイアップ

開催日	開催場所	出演者	内 容
11月 13日～15日	東京駅	アイヌ民族博物館、 床絵美・郷右近富貴子	古式舞踊披露、楽器演奏、リーフレット配布
3月 26日～29日	新函館北斗駅 北斗市観光交流センター	アイヌ民族博物館	古式舞踊披露、工芸品・パネル展示、リーフレット配布
3月 26日	函館国際ホテル	アイヌ民族博物館	古式舞踊披露

(ウ) 空港での展示

展示期間	展示場所	主な展示品等
通 年	新千歳空港	アイヌ工芸品、パンフレット
通 年	釧路空港	アイヌ工芸品、アイヌ文様装飾
通 年	函館空港	アイヌ工芸品、パンフレット
3月24日～	帯広空港	アイヌ工芸品、パンフレット

(エ) 啓発パンフレット

タイトル	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
ふれてみよう アイヌ文化	日本語版	3月	40,000	道内主要空港・観光案内所、道の駅、北海道アイヌ協会、道内博物館など
	英語版	3月	6,000	
	韓国語版	3月	6,000	
	広東語版	3月	15,000	
	北京語版	3月	6,000	

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

(ア) 常設展示の実施

(イ) アイヌ関係図書及び映像資料数

種 別	購入数	寄贈数	現在	備 考
図 書	43	62	4,442	
映 像	0	32	394	DVD 118本含む

(ウ) イランカラフテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講 師	受講者数	受講対象者
7月23日(木)	アイヌ文化交流センター	編 物	弓野 恵子	4	親子
8月27日(木)	アイヌ文化交流センター	舞 踊	平田幸/東儀里絵	12	一般
9月10日(木)	アイヌ文化交流センター	刺 繍	宇佐 照代	13	一般
10月 8日(木)	アイヌ文化交流センター	刺 繍	八幡 智子	17	一般
11月12日(木)	アイヌ文化交流センター	刺 繍	島田あけみ	22	一般
12月10日(木)	アイヌ文化交流センター	木 彫	居壁 太	11	一般

(エ) キロロアン講座

アイヌ文化活動アドバイザーを活用して年12回講座を開講した。

(オ) 交流センター利用者(年間)

区 分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	1,115	△201
一 般	2,873	△81
合 計	3,988	△282

V 伝統的生活空間の再生

1 伝統的生活空間の再生事業

アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生をイメージして自然空間を形成し、その管理運営や自然素材の育成・利用を行い、アイヌ文化の保存、継承及び発展を図った。

① 空間活用等事業・自然素材育成事業

イオルの再生や自然素材育成のための場の確保、空間を活用した普及啓発、自然素材の入手から利用までの一連の過程を行うための管理運営体制の整備を図った。

また、アイヌ文化の伝承活動に必要なにもかかわらず不足している植物の育成やオヒョウニレ等の絶対量が不足している自然素材を植樹、栽培した。

実施地域	事業内容	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（ポロト休養林・陣屋地区・ポロト地区、森野地区、ヨコスト地区）の生育・管理 ・白老イオル事務所(チキサニ)運営 	白老町 (白老モシリ)
平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（丘畑・水辺空間・イオルの森）の試験栽培・管理、活用 ・チセの活用 ・ライブラリー事業 ・平取イオル事務所運営 	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・ライブラリー事業 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化の普及啓発 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培地造成・整備等 ・自然素材の育成状況調査 ・ライブラリー事業 ・アイヌ文化普及啓発 	帯広市 (トカプチアイヌ協会等)

② 体験交流事業

イオル空間や自然素材を活用し、一般の方々を対象にアイヌ文化の理解の促進と普及を図った。

実施地域	事業内容等	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・海のイオル体験交流 10月10日(土)・17日(土)・11月13日(金) ・山のイオル体験 5月23日(土)、8月4日(火)～5日(水)、 10月21日(水)、28年2月11日(木) ・川のイオル体験交流 10月26日(月)、27日(火) ・アイヌ文化の体験・体感 7月27日(月)～29日(水) ・ミニ体験交流 4月25日(土)～28年3月12日(土) [6回] ・普及啓発出前講座 5月8日(金)～11月7日(土) [8回] 	白老町 (白老モシリ)

実施地域	事業内容等	委託先等
平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・キナアカラ（山菜採り）体験 5月16日(土) ・イテセ（トマ編み）体験 6月4日(木)～10月22日(木)（全20回） ・イチャ（穂ちぎり）穀物収穫体験 9月12日(土) ・イノウケ体験 10月8日(木)、9日(金) ・アシリチュエフノミ 10月17日(土) ・イオルの森散策・植樹体験 11月7日(土) ・イユタ体験 2月21日(土) ・ミニ体験交流（プレスレット作り） 6月12(金)、7月10日(金)、1月29日(金) 	平取町
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの伝統料理調理体験 2月3日(水)、2月17日(水) ・アイヌの民具づくり体験 1月26日(火)～2月9日(火)うち5日間 2月16日(火)～3月1日(火)うち5日間 ・アイヌの子どもの遊び体験 2月14日(日)、2月28日(日) 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材栽培・収穫体験交流 10月22日(木)、10月27日(火)、10月30日(金) ・伝統的サケ漁の再現・体験 10月21日(水) ・アイヌ文化歴史講座 11月29日(日) ・伝統的アイヌ料理の実習体験 3月25日(金) 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの薬用植物を学ぶ体験 「アイヌの知恵を学ぶ～植物編」 9月19日(土) ・アイヌの薬膳料理体験 「アイヌの知恵を学ぶ～料理編」 10月17日(土) 	帯広市 (トカプチアイヌ協会等)

③ 伝承者育成事業

イオル空間を利用して、アイヌ文化に関する知識や技術を身につけさせる事業を実施し、人材（伝承者等）の育成を図った。

区 分	事 業 内 容	委託先
3期生 2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者 5名 ・受講日数 245日 ・講義及び実習 	一般財団法人アイヌ民族博物館

④ 連携促進事業

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材の育成などを図った。

(7) ネットワークの形成等

- ・ネットワーク会議の開催（9月：平取町、3月：札幌市）
- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

(i) 植生状況等調査

- ・イオル候補地の植生状況等の調査を実施（十勝地域）

⑤ 連絡調整等

(7) アイヌの伝統的生活空間の再生事業調整会議

<委員一覧>

役職名	氏名	摘要
委員長	三上 純一	むかわアイヌ協会会長
委員	木村 英彦	平取アイヌ協会会長
委員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	長谷川邦彦	白老アイヌ協会会長
委員	出利葉浩司	北海道博物館学芸員

<検討会議>

開催日	開催場所	協議事項等
7月15日(水)	北海道水産ビル	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度イオル再生事業に関する検証評価(案)について ・平成27年度イオル再生事業実施計画(案)について ・平成28年度イオル再生事業実施計画(素案)について ・新たな中期的展開方針報告書の骨子(素案)について

2 伝統的生活空間（イオル）の再生事業関連事業（再掲）

上級講座		p. 6 参照
親と子のアイヌ語学習	➡	p. 7 参照
文化フェスティバル		p. 15 参照

VI その他

○ 助成事業関係

平成 28 年度の助成申請に向け助成事業案内を作成、配付するとともに、地域に出向き説明会を開催した。

資料名	作成時期	作成数	配付先
助成事業案内 平成 28 年度版	1 月	500 部	北海道アイヌ協会、地域アイヌ協会、アイヌ関係団体、博物館、美術館ほか

事業説明会の開催

開催地	開催時期	説明者
札幌市、帯広市、釧路市、網走市、登別市、八雲町、新ひだか町、東京都	1 月～2 月	財団職員

第 4 賛助会員の状況

個人会員 78、団体会員 6、合計 84 会員（新規加入 12、継続 72、脱退 10）

第 5 事業報告の附属説明調書

該当なし